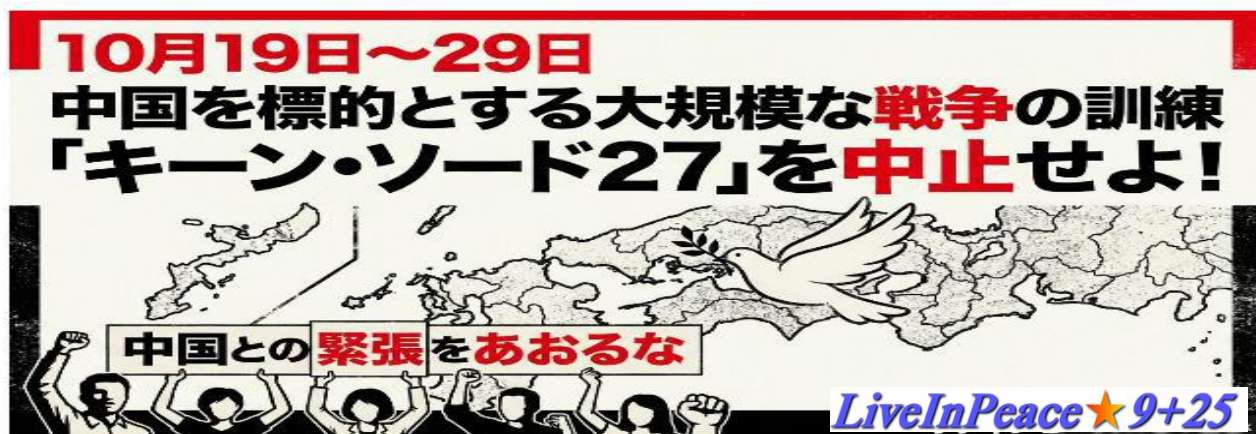




日米共同統合演習「キーン・ソード 27」は、これまでとは質の異なる演習です。

1. 過去最大 5.7 万人を動員。「反撃能力」の実動化と生活圏の最前線化

- 射程約 1,000km のミサイルを初めて演習場へ展開 敵基地攻撃能力の中核となる「25 式地对艦誘導弾」が、3 月の熊本配備後、初めて健軍駐屯地の外へ出て、大野原演習場（長崎・佐賀）に展開します。その射程は、中国大陸沿岸部の一部に届きます。日本は、専守防衛を掲げながら、相手国を攻撃できる兵器を実際に動かす段階に入りました。
- 米軍の中距離ミサイルも日本国内へ 米軍の「タイフーン」も展開され、日米間で標的情報の共有や発射手順が検証される見込みです。日本列島が、対中ミサイル戦の発射拠点にされようとしています。
- 南西諸島を「戦場」にする作戦 与那国島と石垣島には、米海兵隊の無人ミサイル「ネメシス」と防空システム「MADIS」が初めて展開され、宮古島にはオスプレイが飛来します。部隊を島々に分散させる構想によって、住民が暮らす地域が攻撃目標になりかねません。
- 多国間・AI 戦争の加速 米太平洋軍司令部と自衛隊統合戦司令部の指揮の下、仏、独、フィリピンなど 7 か国の軍が参加します。ドローン、AI、電子戦を結び、探知から攻撃までを自動的につなぐ「殺傷網（キル・ウェブ）」は、人間の判断を介さないまま、偶発的な衝突を拡大させる危険があります。
- 民間空港・港湾・病院まで動員 全国の 6 空港と 14 港湾が使われ、さいたま赤十字病院などの民間医療機関も動員されます。市民の命を守る施設を軍事作戦に組み込むことは許されません。

2. 舞鶴・経ヶ岬（京都）も演習に組み込まれます

- 舞鶴：海上自衛隊舞鶴基地に航空自衛隊の PAC-3 部隊が展開し、経ヶ岬通信所や京都府北部での訓練と連動します。
- 経ヶ岬：米軍 X バンドレーダー基地で、陸上自衛隊第 3 師団、航空自衛隊、米軍が合同の警備・通信訓練を行います。短 SAM 等も持ち込み、丹後半島沿岸部にも陸上自衛隊の部隊が展開します。

3. 関西の「特定利用空港・港湾」指定に反対しよう

軍事演習と並行して、国は、関西の 3 空港（関西、伊丹、神戸）と 3 港湾（堺泉北港、舞鶴港、姫路港）を、平時から自衛隊や海上保安庁が優先的に利用できる対象に指定しようとしています。しかし、住民への十分な説明はありません。民間の空港や港を、部隊、武器、物資の輸送拠点にしてはなりません。伊丹空港周辺では、すでに反対の声が上がっています。年内にも指定が進められようとしている今、指定の撤回と軍事利用の中止を求めましょう。

- 全国の運動と連帯を 沖縄・西日本ネットワーク（沖西ネット）が 10 月 9 日に行った政府交渉と、10 日の全国連帯交流集会で示された全国の反戦・平和運動と結びつき、関西から声を上げましょう。
- 軍事対抗ではなく、日中友好外交を 中国を敵視し、軍事力を競い合う道では、平和も住民の安全も守れません。日中両国政府に対し、首脳・外相間の対話、偶発的な衝突を防ぐ連絡体制の整備、経済・文化・市民交流の拡大を求めましょう。